

加藤さんが吹くのは「二本調子」の笛です。調子の数字が小さくなるほど笛が大きくなり、音に重みが出ますが、音を出すのも難しくなります。北本のお囃子で二本調子の笛を吹くのは加藤さんだけだそうです。

“まつりびと”03

北中丸囃子連 加藤 祺さん

120年以上続く北中丸囃子連で、リーダーとなる笛を中心に担当。北本市郷土芸能保存団体連合会の会長も務め、囃子文化の保全にも尽力しています。

「まつりの『ひっかわせ』（演奏の競い合い）は特にテンションがあがりやすいですね。他の囃子に負けないようにとますま

加藤祺さんが北中丸囃子連に参加したのは40年前のこと。60人いた練習生が2か月後には7人まで減っていく中でも、師匠に頼み込んでさらに2か月稽古をつけてもらったそうです。「初めて人前で演奏を披露したのは北本まつりでした。演奏が下手だと途中で師匠に（太鼓の）ばちを取られてしまったんです。それでやっきになって練習しましたね」

稽古中は太鼓の代わりにタイヤや梯子を叩いていました。太鼓が足りないくらい当時は参加者が多かったのだと言います。現在、北中丸囃子連に参加するのは加藤さんを含めて7人。そのうちの一人である鈴木雅彦さんは、まつりで太鼓を叩く加藤さんの姿に息子さんが憧れたのが参加するきっかけとなったそうです。

師匠たちが続けてきた伝統を、“終わらせちゃいけない”という思いがあるんです。

「北中丸囃子連にはその地域の人が参加できないのですが、なかなか新しい人が入ってこない。師匠たちが続けてきたものをこの代で終わりにしちゃいけないという思いがあります」

加藤さんの楽しみは、最年少で神楽経験者の石川直紀さんの踊り。本人から踊らせてほしいと言われたときは「嬉しくてしょうがなかった」と言います。

彼の踊りはすごいよ。そう目を細めて語る加藤さんに、歴代の師匠たちの姿が見えるようでした。

お囃子に興味のある人へ

市内には北中丸囃子連をはじめとした郷土芸能団体が全部で9団体あります。活動に興味のある人は、ぜひお問い合わせください。

☎文化財保護課 (☎ 594-5566)



うちの自慢！ よさこい旗

華舞旗の大きな特徴の一つが、ひとさわ大きなよさこい旗。風にたなびく旗がよさこいによりいっそう華を添えます。



よさこいチーム「華舞旗」は、平成27年に誕生し、現在は18人のメンバーで活動しています。中学生からよさこい歴20年のベテランまで、さまざまな年代の人たちが参加していますが、皆さんとっても仲良しで、練習中も笑顔が絶えません。振り付けを指導するのは勝股礼子さん。北本出身で、モットー

“まつりびと”02

よさこいチーム 華舞旗の皆さん

北本市やその近隣を拠点に活躍するよさこいチーム。毎月のようにさまざまなまつりに出演しています。

思いっきり踊るのは楽しい。地元に踊れるのが一番です！

「は「楽しく和気あいあい」です。華舞旗の皆さんは、ほぼ毎週金曜日に学習センターで練習を重ね、北本まつりはもちろん、鴻巣の花火大会や羽生よさこい祭りなど、毎月のように市内外でよさこいを披露しています。去年は、鴻巣出身の歌手・さくまひできさんによさこい曲を作ってもらい、舞台上でコラボレーションを果たすなど、積極的に活動。人前で思いっきり踊ることで練習に張りが生まれ、ストレス解消になっています。今年の北本まつりでの演目も考えているという勝股さん。「いずれは北本のよさこい曲も作ってもらえたら...」と思っています。やっぱり地元で踊れるのが一番いいですね」

うちの自慢！

北中丸囃子連はおかめ・ひよっこ、天狐の踊りにも力をいれています。

踊り



市民ねぶた絵師直伝！ ねぶた絵講習会

市民ねぶた絵師の指導による初心者向け講習会を開催します。制作の基本である墨入れやロウ付け、着色などを体験してみませんか。

時 8月19日(土)・20日(日)

9:00～17:00

場 コミュニティセンター

定 15人(先着順)

費 無料

申 8月14日(月)までに北本市観光協会(☎591-1473)へ電話または直接。



パフォーマンス・ねぶたでまつりを盛り上げる 「宵まつり」参加団体 大募集

下記の宵まつりのプログラムに参加する個人・団体を募集します。みんなで宵まつりを盛り上げませんか。

- ・パフォーマンス
 - ・ねぶた・山車の運行
 - ・ねぶた山車の曳き手、ねぶた囃子の演奏者
- ☎ 8月18日(金)までに北本市観光協会(☎591-1473)へ電話または直接。



11月4日(土)

「宵まつり」 北本まつり

4年ぶりの開催！